

第3回 兵庫県女子剣道優勝大会（一般の部）実施要項

1. 主 催 （公財）兵庫県剣道連盟・兵庫県
（公財）兵庫県スポーツ協会
2. 後 援 神戸市・（公財）神戸市スポーツ協会
3. 日 時 令和7年11月23日（日祝） 受付(身障者体育館)午前8時45分
開会式 午前9時30分
4. 会 場 神戸市立王子スポーツセンター・神戸市灘区青谷町1-1-1

5. 出場選手資格・チーム編成方法

（1）出場資格

- ① 出場選手は、本県剣道連盟加盟団体の登録会員である者。
ただし、学生・生徒は認めない。
- ② 出場選手は、他の団体からの出場も可とするが、いずれも当連盟に所属している団体に限る。両団体が協議のうえ合意を得る事。
- ③ 各団体の出場チーム数は、制限しない。
- ④ 選手の登録は、1部・2部のいずれかとする。
- ⑤ 審判員と、選手を兼ねる事は出来ない。（監督は可）

（2）チーム編成

- ① 第1部にあっては、チーム3選手の年齢総数が、120歳未満。
- ② 第2部にあっては、チーム3選手の年齢総数が、120歳以上。
（ただし、各選手の年齢は、35歳以上とする）
- ③ 補欠選手の登録は、2名以内とし、他の者は出場できない。
- ④ 出場順位は、低年齢順とする。
- ⑤ 年齢基準は、大会当日とする。

6. 出場の申込

令和7年10月14日（火）までに、申込書（ホームページからダウンロード）により、参加料を添えて下記に申し込みください。

〒657-0838 神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号
公益財団法人 兵庫県剣道連盟

*** 団体の略称名（5文字以内）を申込書に記入してください。**

7. 試合・審判及び試合方法

- （1）全日本剣道連盟 試合・審判規則とその細則による。
- （2）試合は、トーナメント方式による。
- （3）試合時間は3分とし、制限時間内に勝敗が決しない場合は、引分けとする。
- （4）試合は3本勝負とし、勝者数法による。
- （5）勝者数が同数の場合は、総取得本数の多いチームを勝とし、総取得本数が同数の場合は代表者戦を行う。代表者はそのチームにおいて任意に選択する。
代表者戦は1本勝負とする。延長に入ってから試合時間は3分区切りで、勝敗の決するまで行う。
- （6）選手の交代は、補欠に登録した選手でなければならない。2部にあっては、補欠選手と選手変更する場合、年齢総数が満たない場合は、補欠選手との交替はできない。
また、一度交代した選手の再出場は認めない。
- （7）審判員は、連盟が委嘱する。審判員は選手を兼ねることは出来ない。

8. 竹刀の計量、検査について（場所は身障者体育館）

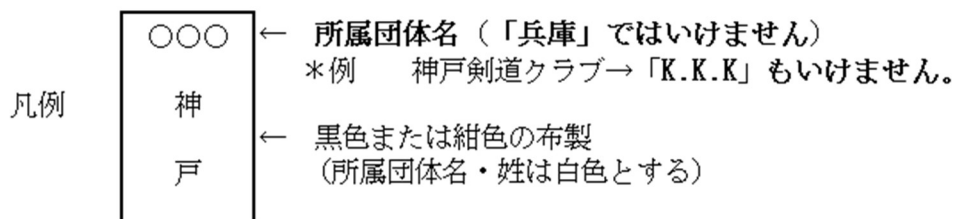
- (1) 竹刀の計量は、大会当日必ず受けること。
- (2) 竹刀の基準は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則並びに剣道試合・審判運営要領による。（最新の改訂により実施）
*身障者体育館は、竹刀検量終了後は練習会場として使用できます。
（剣道場は使用不可）

9. 表 彰

- (1) 第1部・第2部それぞれ、優勝・第2位までに賞状及び賞品を授与する。
- (2) 優秀選手4名（第1部2名・第2部2名）に優秀選手賞を贈る。

10. 試合者の名札について

出場選手は、剣道具の垂中央に黒色または紺色に白抜きで所属団体名（横書き）、姓（縦書き）を明記した布製の名札を必ず着けること。
所属団体名を明記していない場合は、名札を差し替えてもらうことになります。連盟に登録している団体名（文字）であること。



11. 参加料 1チーム 5,000円。（傷害保険料を含む。）

12. 出場選手の健康管理

試合に出場する選手は自己の健康に留意し、無理のないようにすること。
また、団体においても勝ちたいために、有力選手の健康状態が良くないのに出場させることの無いよう特に配慮してください。

13. 病気・負傷者の取り扱い

試合中、病気や負傷のときは応急処置及び傷害保険範囲内の処置を行いますが、負傷事故の出ないように出場される方は十分な用具管理と健康管理をお願いします。

14. その他

- (1) 出場チームは、赤白の目印を各3本持参すること。
- (2) 補欠との交代は、必ず事前に試合場審判主任に申し出ること。
- (3) 開会式には全チーム参加すること。
- (4) 出場チームは、当日各試合場の進行係主任に下記のオーダー表を提出すること。
 - ① 団体名と選手の姓のみ記入する。（但し、同姓の場合は、名前の一文字を右下に記入する。）
 - ② 団体名・選手の姓は墨または太字マジックで大きくわかりやすく書くこと。
 - ③ オーダー表の大きさは次のとおり。

